
2019年度第3四半期連結決算概要

2020年2月7日

 **明和産業株式会社**

証券コード：8103

2019年度3Q決算ハイライト

- 対前年同期比**減収** (Δ 8.8%)・**増益** (+1.2%)
- 電池関連需要の大幅な減少により取引が低調に推移
- 売却予定の政策保有株式16銘柄中、大部分の銘柄を売却
- 中間配当一株**44円**実施、期末配当予想一株12円

2019年度決算のポイント

1Q

- 対前年同期比**減収** ($\Delta 7.8\%$)・**減益** ($\Delta 19.8\%$)
- 主に明和単体の減収の影響で**減収減益決算**
- 通期配当予想一株**12円** (連結配当性向21.3%) 前年度実績: 10円

2Q

- 対前年同期比**減収** ($\Delta 8.8\%$)・**減益** ($\Delta 15.4\%$)
- 電池関連需要の減少により取引が低調に推移した他、同関連市況下落により一部取引損失発生
- 売却予定の政策保有株式16銘柄中、一部銘柄を売却
- 中間配当予想一株**44円**、期末配当予想一株12円

3Q

- 対前年同期比**減収** ($\Delta 8.8\%$)・**増益** (+1.2%)
- 電池関連需要の大幅な減少により取引が低調に推移
- 売却予定の政策保有株式16銘柄中、大部分の銘柄を売却
- 中間配当一株**44円**実施、期末配当予想一株12円

4Q

- 2020年5月中旬公表予定

連結対象会社

項目	2018年度末 (A)	2019年度 第3四半期末 (B)	増 減 (B) - (A)	摘要 () 内は報告セグメント
連結 子会社数	6 社	6 社	± 0 社	十全 (第三事業) 武田商事 (第三事業) 明和産業 (上海) (各事業) 東京グラスロン (第三事業) ソーケン (第三事業) 明和セールス (その他)
持分法 適用会社数	3 社	3 社	± 0 社	鈴裕化学 (第一事業) クミ化成 (自動車事業) P.T. PAKARTI RIKEN INDONESIA (自動車事業)
計	9 社	9 社	± 0 社	

外部環境要因

項目	2018年度 第3四半期 (A)	2019年度 第3四半期 (B)	前年同期 差異 (B) - (A)
為替レート	円/\$	1 1 1.0 0	△ 1.4 4
	円/CNY	1 6. 1 6	△ 0.4 9

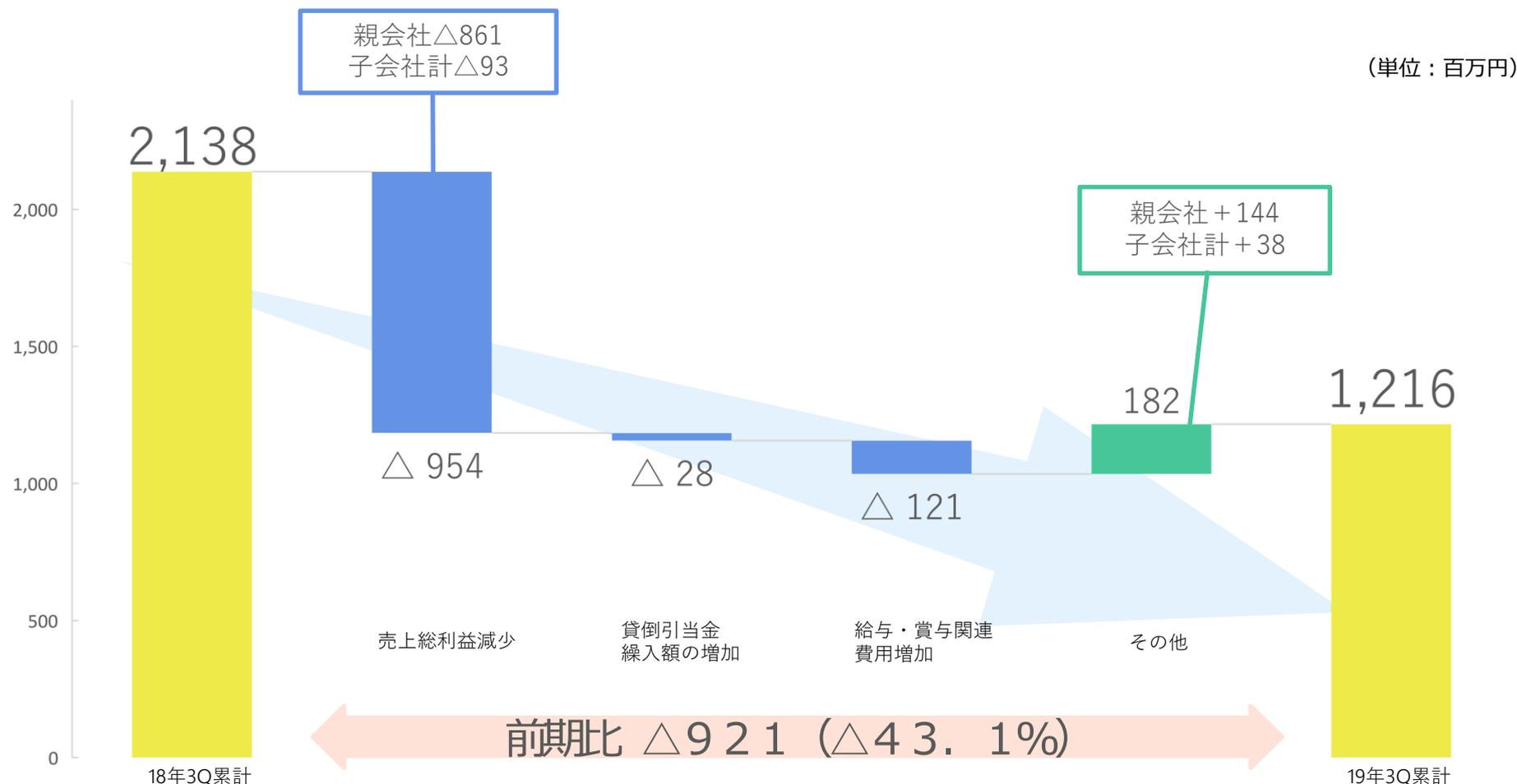
連結損益計算書（2019年4月～12月）

(単位：百万円)

項目	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	増減額	増減率	通期予想 (5/14公表)	進捗率
売上高	117,673	107,297	△10,375	△8.8%	160,000	67.1%
売上総利益	8,644	7,690	△954			
売上総利益率	7.34%	7.17%	-			
販売費及び一般管理費	△6,506	△6,474	+32			
営業利益	2,138	1,216	△921	△43.1%	2,300	52.9%
金融収支	△113	△105	+7			
受取配当金	179	187	+8			
その他営業外損益	△127	△126	+1			
持分法による投資損益	421	183	△238			
経常利益	2,498	1,355	△1,142	△45.7%	3,200	42.3%
特別損益	35	1,332	+1,297			
税金等調整前四半期純利益	2,533	2,688	+155			
法人税等	△660	△792	△132			
非支配株主に帰属する四半期純利益	△19	△19	+0			
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,853	1,876	+22	+1.2%	2,350	79.9%

前年同期比分析 - 営業利益 -

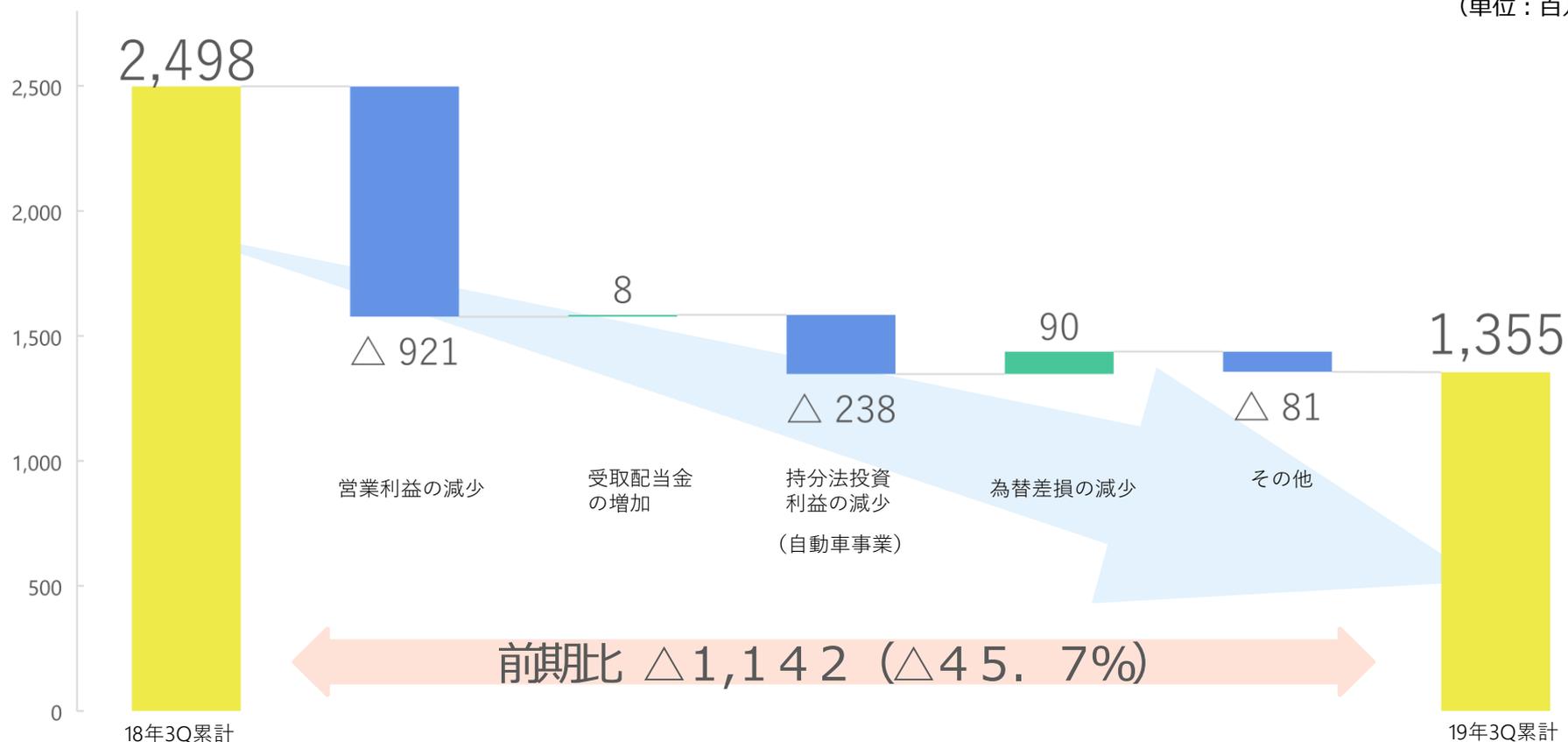
◆ 親会社の電池材料取引における売上総利益の減少により 9 2 1 百万円の減益となった



前年同期比分析 - 経常利益 -

◆ 為替差損の減少などのプラス要因もあったが営業利益及び持分法投資利益の減少により1,142百万円の減益となった

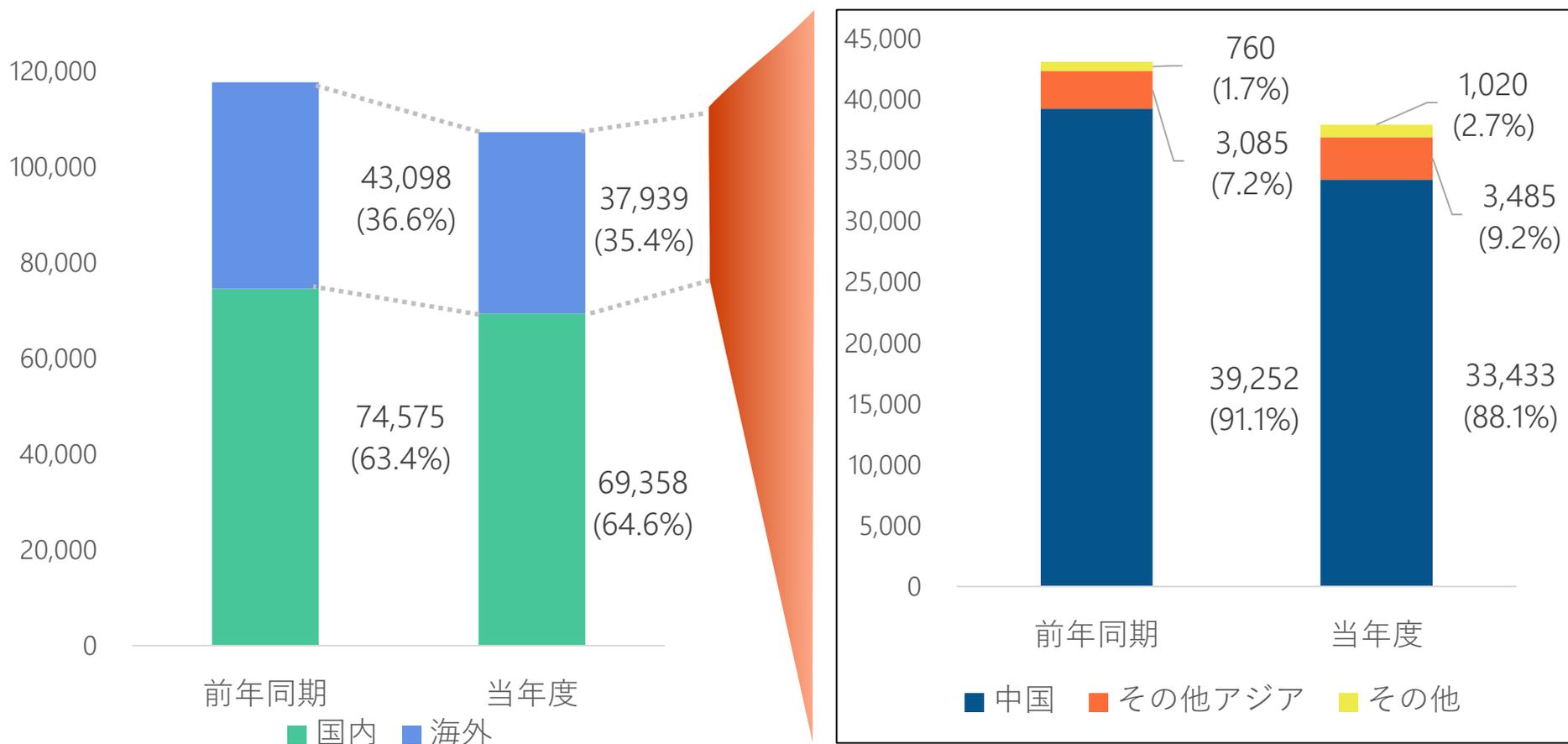
(単位：百万円)



地域（国内・海外）別売上高

- ◆ 国内事業、海外事業共に低調に推移（海外売上比率35.4%）
 - － 海外事業の内、中国向売上が占める割合は高水準、その他アジア向は金額・比率共に微増

（単位：百万円）



報告セグメントに関する補足情報

セグメントの名称	主な事業	主な取扱商品及び事業内容
第一事業	電池材料事業 資源・環境ビジネス事業 樹脂・難燃剤事業 医薬関連開発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・電池材料 ・レアアース・レアメタル、環境関連 ・合成樹脂・難燃剤 ・原薬・医薬中間体
第二事業	石油製品事業 石油ビジネス開発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・潤滑油、ベースオイル、添加剤 ・海外事業開発
第三事業	高機能素材事業 機能建材事業	<ul style="list-style-type: none"> ・化学品原料、印刷材料、合成樹脂加工品 ・機能建材
自動車事業	自動車事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品関連事業

報告セグメント別売上高

(単位：百万円)

セグメント	2018年度	2019年度					増減	主な増減要因
	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q	累計		
第一事業	30,651	6,766	6,256	7,625		20,648	△10,002	電池材料 (△)
第二事業	31,310	11,513	8,351	11,846		31,711	+400	ベースオイル (+)
第三事業	53,551	16,966	17,440	18,437		52,844	△707	防水資材 (△)
自動車事業	1,836	561	544	746		1,852	+16	
その他	323	96	79	65		240	△82	
合計	117,673	35,904	32,671	38,722		107,297	△10,375	

注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、硝子製品事業を含んでおります。

報告セグメント別利益

(単位：百万円)

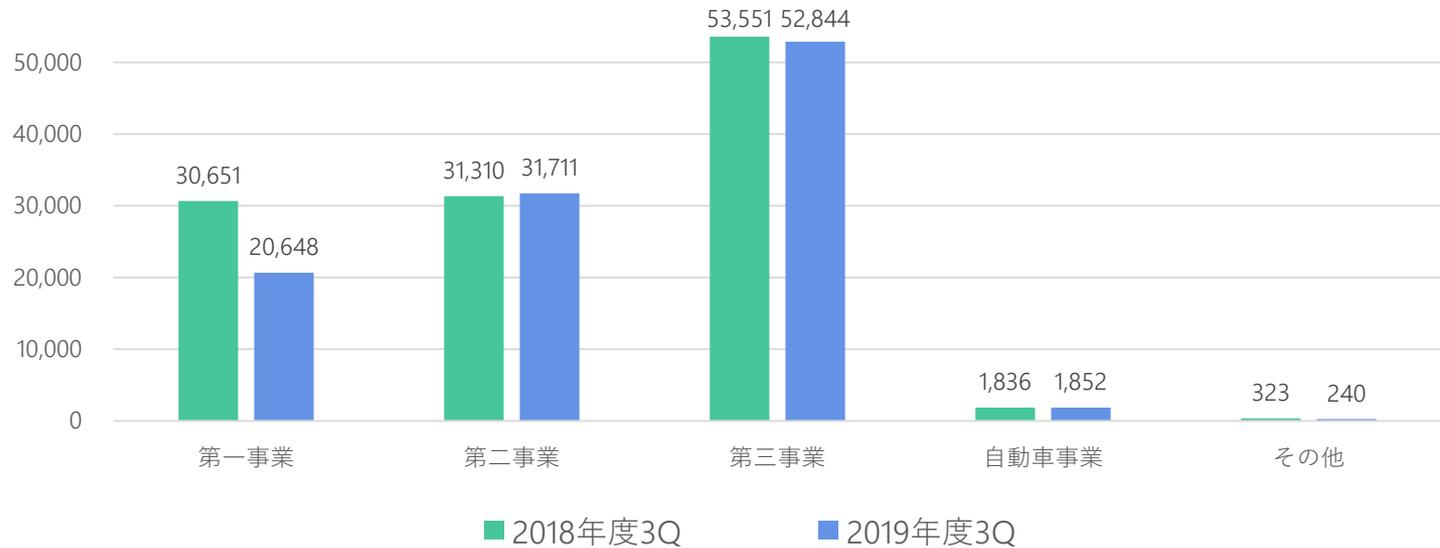
セグメント	2018年度	2019年度					増減	主な増減要因
	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q	累計		
第一事業	693	△9	△237	34		△212	△906	電池材料 (△)
第二事業	720	292	127	374		794	+74	
第三事業	681	187	248	379		816	+134	
自動車事業	271	78	54	△111		21	△250	持分法投資損益 (△)
その他	△56	△9	△15	△83		△108	△52	
調整額	186	100	△44	△12		44	△142	
合計	2,498	640	133	581		1,355	△1,142	

- 注) 1. その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、硝子製品事業を含んでおります。
 2. 調整額は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

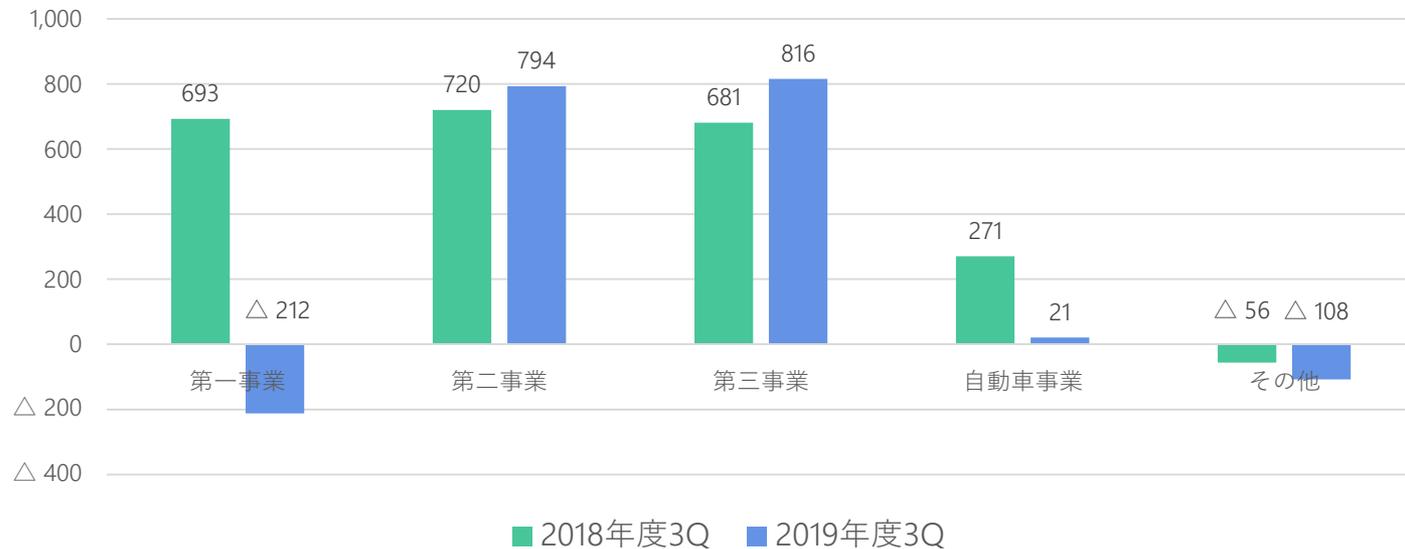
報告セグメント別売上高及び利益推移

● 売上高

(単位：百万円)



● 利益



連結貸借対照表

(単位：百万円)

項目	2018年度末	2019年度 第3四半期末	増減
現金及び預金	4,409	7,711	+ 3,302
売上債権	42,904	41,644	△ 1,260
商品	6,885	7,871	+ 986
その他の流動資産	812	1,325	+ 513
貸倒引当金	△173	△ 171	+ 2
流動資産計	54,838	58,381	+ 3,542
有形固定資産	696	1,055	+ 359
無形固定資産	141	134	△ 6
投資有価証券	15,494	14,007	△ 1,486
その他の固定資産	1,095	1,069	△ 26
貸倒引当金	△115	△ 116	△ 0
固定資産計	17,312	16,151	△ 1,161
資産合計	72,150	74,532	+ 2,381

項目	2018年度末	2019年度 第3四半期末	増減
仕入債務	28,380	32,218	+ 3,838
短期借入金	4,622	4,241	△ 381
その他の流動負債	1,828	2,627	+ 799
流動負債計	34,831	39,088	+ 4,256
長期借入金	522	50	△ 472
退職給付に係る負債	1,042	1,054	+ 11
その他の固定負債	2,476	2,245	△ 230
固定負債計	4,041	3,349	△ 691
負債計	38,873	42,437	+ 3,564
資本金・資本剰余金	6,785	6,785	-
利益剰余金	23,288	22,825	△ 462
自己株式	△ 4	△ 4	-
株主資本合計	30,070	29,607	△ 462
その他有価証券評価差額金	3,157	2,651	△ 505
為替換算調整勘定 他	△193	△417	△ 224
その他包括利益累計額合計	2,963	2,233	△ 729
非支配株主持分	244	253	+ 8
純資産計	33,277	32,094	△ 1,183
負債及び純資産合計	72,150	74,532	+ 2,381

自己資本比率	45.8%	42.7%	△3.1%
---------------	--------------	--------------	--------------

2019年度連結業績予想（通期）

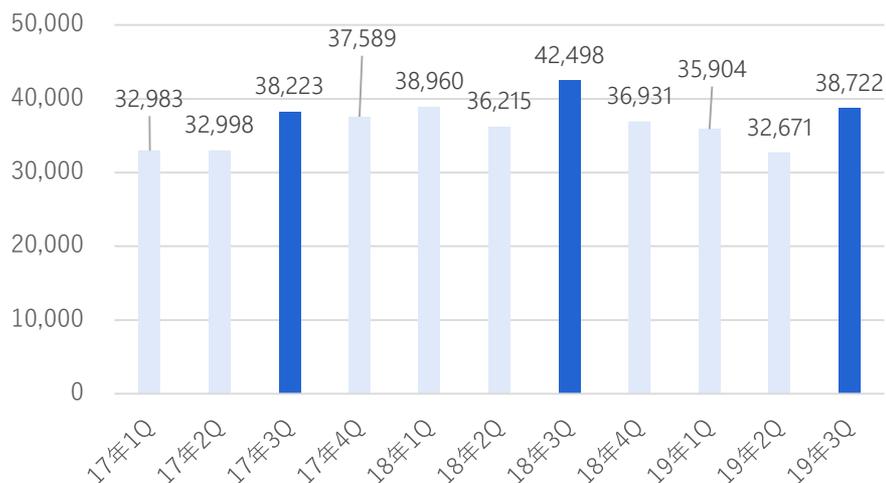
（単位：百万円）

項目	2019年度予想 (2020/2/7公表)	2019年度予想 (2019/5/14公表)	増減額	2018年度	増減率
売上高	140,000	160,000	△20,000	154,604	△9.4%
営業利益	1,100	2,300	△1,200	2,636	△58.3%
経常利益	1,350	3,200	△1,850	3,256	△58.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,000	2,350	△350	2,267	△11.8%

本資料で記載されている業績予想並びに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

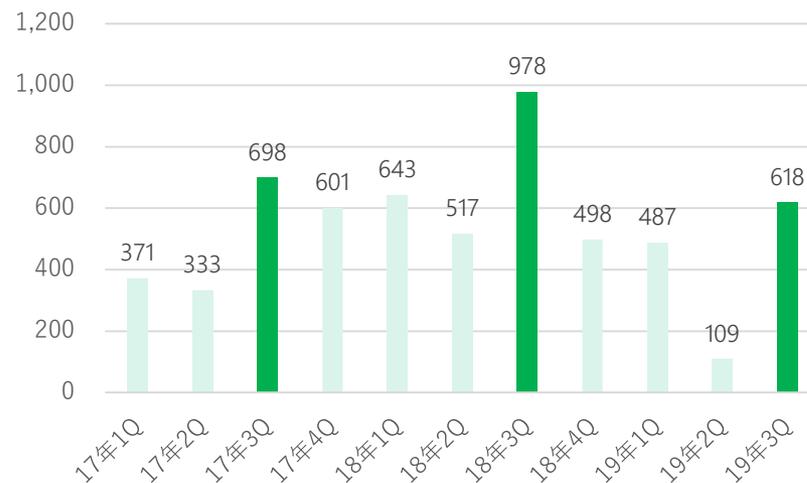
連結四半期業績推移

売上高

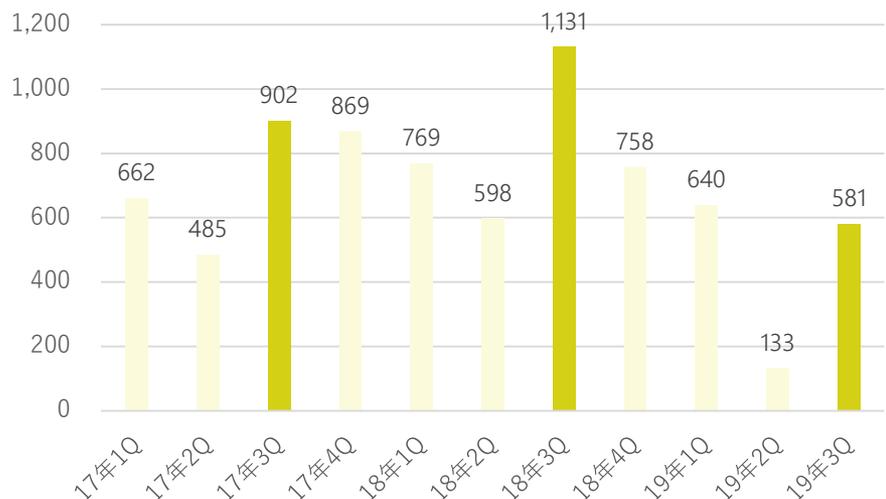


営業利益

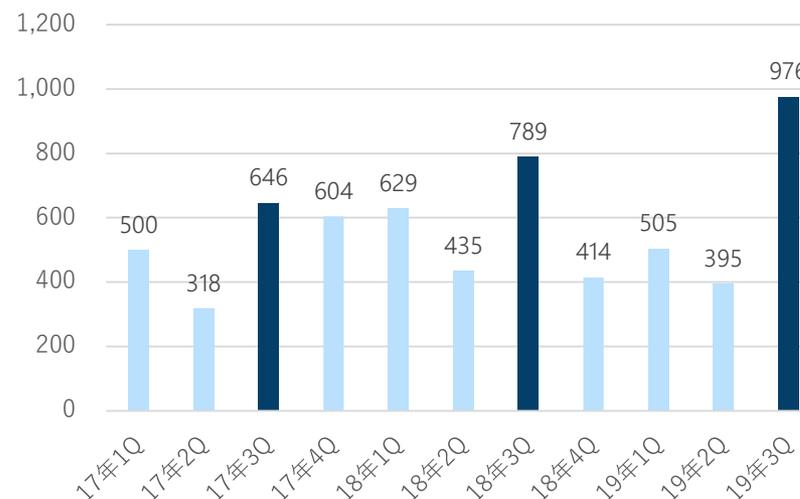
(単位：百万円)



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



各事業部門の概要

	第一事業部門	第二事業部門	第三事業部門	自動車事業部
部門の特徴	<p>需要伸長が見込まれる分野において、当社が機能を発揮する中核事業を基盤に、バリューチェーンの強化を図り、事業拡大を目指す</p>	<p>石油製品関連分野で中国を中心としたアジア市場において、パートナーと連携し、海外拠点を通じたネットワークや物流機能等を強化し、事業拡大を目指す</p>	<p>化学品・建材分野において機能性のある製品をベースにサプライチェーンの構築や販売力・専門性の強化を図り、事業拡大を目指す</p>	<p>自動車関連分野において事業投資先の企業価値向上を図り、事業拡大を目指す</p>
主たる事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池材料 ● レアメタル、レアアース ● 環境関連 ● 合成樹脂・難燃剤 ● 原薬・医薬中間体 	<ul style="list-style-type: none"> ● 潤滑油 ● 添加剤・ベースオイル ● 海外事業開発 	<ul style="list-style-type: none"> ● 化学品原料 ● 印刷材料 ● 合成樹脂加工 ● 機能建材 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車関連